



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011年-2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第16回例会

平成23年10月26日(水) サンパレス福島

■メークアップ/26名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/41名 ■出席率/61.20%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
高橋 和之会長
- 3 各委員会報告
国際奉仕委員会
菅野 良二委員長
復興支援室
廣澤 俊樹室長
- 4 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 11月 9日(水) 地区ゲストスピーチ
ロータリー財団委員会 平井 義郎委員長
- 11月 9日(水) 第6回理事会
- 11月 16日(水) 渡辺健寿ガバナー補佐クラブ訪問
- 11月 16日(水) IAC 例会 福島成蹊高校
- 11月 23日(水) 法定休日

今週のトピックス

最近のテレビで、愛菜ちゃん福くんを見ない日はありません。大変な才能と可愛さを持ち合わせているようです。くれぐれも幼少にして高科に登ることのないよう、周りの大人が心配りをしてあげなければなりません。

◆会長あいさつ◆ 高橋 和之 会長



先週の例会は、東京麹町RCとの姉妹クラブ締結式例会でした。お陰さまで厳粛な中にも友好的な記念すべき例会になりました。

例会の後マイクロバスで相馬市へ、今村直前ガバナー補佐のご案内で駆け足の被災地視察を行いました。夜7時から高湯温泉玉子湯で懇親会を行いました。初めてお会いしたにも拘わらず旧知の仲のように和気藹々の懇親会でした。ご出席、ご協力いただきました会員の皆様に、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございます。今後息の永い姉妹クラブの関係を築いて参りたいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

先々週の例会に、タイのバンコク国際大会参加希望のお話を致しましたが、その後のタイ洪水のニュースは、日が経つにつれ被害が増してゆく映像を見るたびに、バンコク国際大会参加を危惧しておりました。ちょうどその矢先の先週の18日に、当クラブの国際奉仕委員会が開催されまして、私も同席させていただきました。その席上、洪水の被害は収まる様子もなく、このまま続けば復旧するのに相当時間がかかるだろうし、高温多湿の環境下では伝染病の流行も懸念されますので、バンコク国際大会の参加

を中止すべきではなかろうかとの話し合いになりました。続いて、先週の21日に臨時理事会を開催いたしまして、バンコク国際大会の件で審議が行われましたが、結果は中止と決定されました。替わりの旅行先は、昨年度に企画して取りやめになりましたセブ島周辺旅行か、ホノルルを中心としたハワイ旅行のいずれかに決定されました。

国際奉仕委員会には、バンコク国際大会に向けた準備でご苦労をおかけしましたが、参加されます会員やご家族の安全・安心を考慮しますと、国際大会の参加は又の機会にすべきと考えました。また、代替案に関しましては、前年度は取りやめでしたので、今年度にその思いをと考えセブ島周辺としました。また、ハワイにつきましては、今年3月にホノルル・サンライズRCが震災のお見舞いに駆けつけていただきましたので、早朝例会にメークアップして、御礼のご挨拶を兼ねてのハワイ旅行と提案いたしました。

11月9日の理事会で日程と旅行先を決めていただき、年内を目途に参加者の取りまとめをしたいとのことです。急ぎ足で進めていただきたいと思います。

このあと、菅野良二国際奉仕委員長と廣澤俊樹復興支援室長のスピーチがありますので、ご清聴よろしくお願いたします。

◆各委員会報告◆

◆国際奉仕委員会◆

菅野 良二委員長



皆さんこんにちは、国際奉仕委員会からの発表をさせていただきます。先ほど高橋会長の挨拶にありましたように、本来であればタイ、バンコクの世界大会に参加する考えでありました

が、タイの洪水被害が拡大しているため、会員及び家族の方々の安全と健康に配慮し、先日の臨時理事会の中で中止の決定をさせていただきました。その代案として、ハワイホノルルのサンライズ RC へのメイキャップをするハワイ旅行や昨年度中止にしたフィリピンのセブ島の話がでており、来月の理事会で決定し皆さんに報告したいと思っております。なお、時期としては来年の2月ごろを考えております。

また、国際奉仕委員会の今年度の事業計画にある大学生、留学生、一般市民との国際奉仕活動に関する勉強会として、今月の19日に福島大学の教室を借りてジャーナリストの相原寛子様を講師に迎え、「フィリピンで私が見た臓器売買の現状、途上国の医療から考える私たちができること」というテーマで講演していただきました。学生、一般市民、ロータリアンなど合わせて45名の参加がありました。

若い世代の人材育成は、我々ロータリアンの役目だと思っておりますので、次回の勉強会にも是非とも多くの皆様の参加をお願いいたします。

◆復興支援室◆

廣澤 俊樹室長



復興支援室は、去る7月1日に奉仕委員会を中心に5名で立ち上げたものです。これまで、4~5回の会議を開催し、被災者支援のあり方について協議してきました。現在、福島大学の協力を

を得て継続的な支援をするための3つの企画提案事項について具体的な協議をしているところです。なぜ、福島大学なのかと疑問に思われる方もいると思いますが、現在福島において特に問題となっているのは風評被害です。そしてそれはそんなにすぐに解決できるものではないし、その中に居る人間が声を上げてあまり効果は上がりません。福島大学の学生はその6割が県外出身者です。それらの毎年入れ替わる生徒達が県外や国外に行くと、福島は大丈夫だと言ってもらえることが効果的なのです。

“福島大学との共同プロジェクトの3つの提案”

- ① 講演会及び市民講座の開催
講演会はネームバリューのある講師を迎えて今年度中に実施予定、市民公開講座は来年度以降に3年連続で開催予定
- ② 「かーちゃんの力」プロジェクト
女性の力を活かした地域復興支援
- ③ 「学生の力で世界と繋がる」プロジェクト
学生が企画する「被災地を巡るバスツアー」

◆IM実行委員会報告◆



10月26日(水)例会終了後の午後1時40分からIMの第1回実行委員会が開催されました。委員会では、野地利雄実行委員長を議長として、開催日時、運営方針の確

認や運営にあたる各委員会の職務分担等が話し合われました。

IMプログラム(案)抜粋

日時 平成24年2月17日(金)午後1時30~
場所 サンパレス福島

メインテーマ

「5大奉仕を見つめよう 博愛を広げるために！」

サブテーマ

「3.11後のロータリーの職業奉仕」

基調講演:

講師 RI第2530地区直前ガバナー大橋廣治様
グループディスカッション

サブテーマに基づき職業奉仕について討議

福島南RCがホストクラブになりますので皆様のご協力をお願いいたします。

◆スマイリングボックス◆

廣澤復興支援室長と、菅野国際奉仕委員長のスピーチに感謝して！

高橋 和之

国際奉仕委員会 菅野委員長 復興支援室 廣澤室長報告有難うございます。

菅原 節子

廣澤会員、菅野会員のスピーチを楽しみにしています。

黒羽 好夫

いよいよ今週日曜日あづま球場で大声杯プレーボール 21名の参加本当に有難うございます。

富田健三郎

本日も出席できました。

林 克重

スマイル 35,000円 累計 787,000円
財団・米山 45,000円 累計 738,000円

～一週一言～ 三不幸

伊川先生言う、人、三不幸あり。少年にして高科に登る、一不幸なり。父兄の勢に席つて美官となる、二不幸なり。高才有つて文章を能くす、三不幸なり。
安岡 正篤 一日一言より

◆編集後記◆

世の中いろいろなことが起こっています。いろいろなことが起こるものが世の中というのでしょうか。
(松崎)